

謹告

當店店舗平町土橋通に新築落成候に付本日より營業部を同所へ移し候間不相變御愛顧御引立の程希上候

敬白

組織變更紀念

ヤマフル初賣の催し

舊正月二日三日二日の營業時間

(自午前一時至午後五時)

大景品開店祝として洩れなく進上

福引御買上高五拾錢毎に (聯合福引券一枚進呈)

は特價提供

賣上

此際商品券、切手帳、にて御買ひ置き御徳用

醬油 味噌 酒類 鱈節 食料品

製 造 問 屋



醸造元

鹽屋 山崎合名會社 營業部

新築移轉... 平町土橋通 專用電話一〇番

賣地廣告

平鷹匠町 九番ノ二

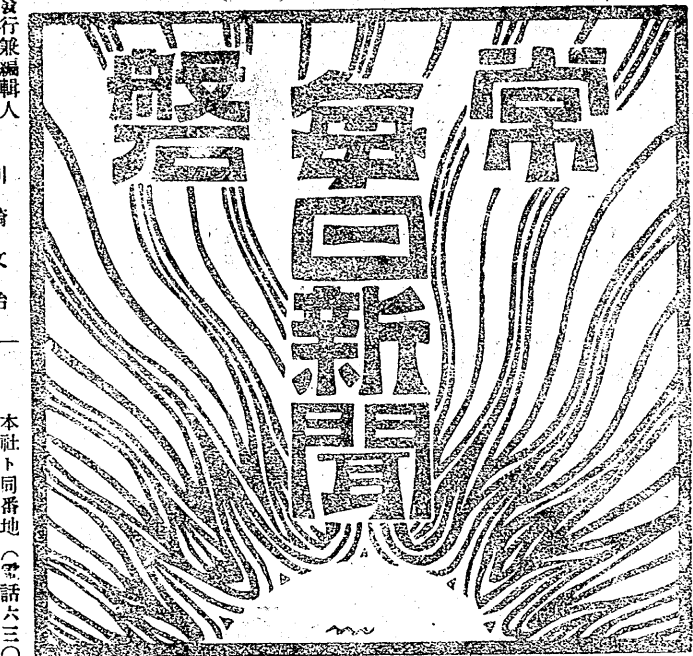
五畝歩 間口五間

平機關庫裏道路に面し絶好の場所

右至急賣度し御希望の方は 平町三丁目三番地

鈴木勝藏

迄來談を乞ふ



定部金貳錢 廣五號十二行 刊日 祝日 翌日 發行所 常陸郡平町長橋前三五 電話六三〇番

二月二十日夕刊

常警論壇

常識教育の最大急務

山田わか

(一) 學校に籍を置く間はそれがどんなに高等な學府であらうとも與へられた、科目を撰擇する自由は無い筈で、なせなら、學問を教へられると云ふこと、一般行動の自由と云ふことは、兩立すべきものでないから、けれども此の頃の學生はいろ／＼の問題をかつぎ出して何々大會であるとか何々反對運動であるとかさう云

ふ方面にのみ努力して學生本來の義務修學と云ふことを忘れてゐるかのやうな觀があります。さう云ふことからは驚きばかりでなく、親が非常に苦しい思ひをして送る學費を何にもならない呑み食ひや其の他の遊びに費してゐる一言で云へば學ぶべきものを學ばずに學ぶべからざるものを學んでゐると云ふ事實を餘りに度々目撃させられます。そしてかう云ふことは學生間に於てばかりではないたとへば普選を獲得するためには随分大騒ぎをいたしました。そして或る程度の普選を獲得した國民はさう云ふ生活

をしてゐるか云へば自分の住んで居る家の掃除便所や下水、又は蠅の驅除に至る迄當局から強制的に注意されなければ實行出来ない。と云ふ衛生觀念にとぼしい國民です。云ひかへれば自分の生活に直接關係ある衛生に關してすら當局の干渉を受けねばならぬ程のいはゞ一種の低能であるのです。すから路上に於て汽車に電車に、飲食店に於て公衆に不愉快を與へると云ふことなどむしろ當然でありませう (つづく)



發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常陸毎日印刷所

平町の文化機關

十三日會組織變更

維持會員の制度に

平町十三日會は大正十四年二月の創設に係り爾來歳々閱する事十有一年、回を重ねる事百廿回、而して會員相互意志の發表機關として地方文化の向上開發に貢献し郷土に裨益したる所甚だ大であるが、時代の推移、鑑みれば活動上未だ遺憾の點が尠くないので、今回規約を改正し維持會員を以つて組織する事となり、常任幹事の滑川一郎、櫻井賢文、大森勇の三氏を發起とし、入會者募集中の由、因に改正會則は左記の如くである、

少年就職者

紹介所努力

平町職業紹介所去月の中、就職者は四十名でそのうち就職した者は半數の二十名である、これ等就職者は主として炭礦労働者並びに行商人で、會社銀行方面は一名もない紹介所では來月卒業する小學校生徒に對しては及ぶ限り紹介斡旋に努むべく既に銀行會社とは大体打合せを了したが希望者は電話なう葉書にて同所に問ひ合せれば所員が出張して周旋する

小名濱信用總會

石城郡小名濱町有限責任信用組合第三回通常總會は來る十五日午前九時より同町小學校内に開き左の件を附議する筈で郡よりは尾形主事出席する

圖書館

星氏の寄附で

石城郡錦村では同村出身星製菓株式會社社長星一氏の寄附金を基本とし、同村小學校に圖書館を設置すべく當局に對し認可申請中の處去る三日附を以て認可指命ある

今から待たれる

櫻花の名所松ヶ岡

今年は一層美化されん

石城平の名物の一である松ヶ岡公園は櫻花時には東北一とまで稱され毎年茨城縣方面から多數の觀客が訪問するので、町當局では同公園一帯を一層美化し一般觀客の意に添ふべく種々計畫をめぐらしてゐるが、先づ急を要するものは櫻樹の天災病でこれが驅除についても相當研究し遅くも三月中旬までに一ト通り驅除を了する見込であるし之と共に樹枝剪

也と決定の件△大正十五年に於て一組合員に貸付し得べき最高金額を一千圓也と決定の件△定額變更の件、△信用評定委員

手ぐすね引いて...

二日市を待つ各商店

思ひ切つた不景氣の打開策として一齊に斷行された破格大勉強の舊歲未大賣出しに依つて例年にかつて見ない大盛況を早した

平町は

年内既に恒例の舊曆二日の賣り初め當日の收穫を擧げてしまつた事とて肝甚な當日は力抜ける感があらうと思ひの外ナン、ナン夫れ所か、全町の張り込みは一層に増して手グスネひいて當日を待つて居る、既に

五丁目

東榮會の如きは第一回第二回共に大成功裡に大賣出しを終了し更に矢つき早くも第三回として二三四の三日間をねらつて聯合大賣出しを行へ各商店では例年の通りお年玉として買上品相當の景品を



塩鮭料理

塩鮭の吸物、鹽鮭の生肉をなるべく細く切り、それを葱と昆布を細かに切ぎみなるものを等分位にませそ

設置並に案員選舉の件、△理事一名監事二名補缺選舉の件△事務所移轉の件△町四十二番地を三十二番地と改む

出す外買上金額一圓毎に成田山參拜券や其他の福引券一枚宛を添へる由で二重に景品が出るとの奮發振り又

三丁目も歲末から引續いての聯合大賣出しに當日は特に景品の質を選び日頃の量引に酬ゆる筈だが本日迄に同町で籤き當てた主もなる福運者は左記の通り

(一等)永井村阿部竹次郎 富岡町鈴木三郎(二等)二丁目仲屋洋服店、小島根本宇太郎、南町高萩ヨシエ、大浦村坂本清、平窪村松本徳一、川前村根本忠孝(三等)杉平太丸屋外卅九名

山部社司遊

郷土の功勞者 平町縣社子鐵倉神社々司山

れをメリケン粉で堅く煉り合し、適宜の大きさの片にして、煮立つた湯の中に投じて吸物とするのです其際には、鹽氣が鮭からでますから別段醬油を加へなくとも程よい味がでます其時味リンガ酒、少量の砂糖を加味して味をつけます。鹽鮭の酢漬、鹽鮭を適

部正宣氏は昨年來より病を得て東京橋區木挽町南胃腸病院に入院去る四日以来歸平磐城病院にて治療中の處十一日午前十時三十分遂ひに他界した享年六十七歳氏は永らく郷土開發に努力した功少なからず長逝を惜まれてゐる因に葬儀は十二日午後三時紺屋町自宅出棺神式により田野寺寺内に於て盛儀を執行した

平商生徒見學 平商業學校本年度卒業生四十五名は過般來平町内各方面の實地見學中九日は磐城銀行の執務狀態を見學し公金主任住々木龍若及副支配人山崎庫太郎兩氏より銀行業務に關する諸般の説明を受けた

錦村青年總會 石城郡錦村青年團にては來る十五日同村小學校に於て總會を開催する由

社告 明日は電氣動力休業の爲め又明日は日曜にて休刊が二日續く事となりますから御諒承願ひます

宜の大きさに輪切りにし、暫く水に浸して鹽出しをしそれを生がの細かにきざんだものか、大根おろし等加味して普通の如く酢漬にするのであります。其外すり身には身をよすつてメリケンコを加へてコネ團子にして吸物の種子には茹でて用ひます

兎の耳

十三歳で體量廿貫 室蘭尋常高等小學校五年生熊谷力雄 (二)は身長四尺九寸三分體量二十貫百多胸圍三尺二寸足袋は十一文をばき一俵の米が擔げる、小學校を卒業すれば三杉磯の弟子になるさうである力雄は八人の兄弟のうち五番目である

平町人事 出生 △四軒町一九 水野勝馬氏長女東子 △二丁目一 櫻井保氏長男一男 △死亡 △紺屋町八 山部正宣(六七) △二丁目四 鈴木誠次郎(七〇)

の手に取押へられた同郡内郷村大字内町字水の出鈴木吉雄に對する公判は曩に平區裁判所に於て小野村判事係宮崎檢事關與仲里門傳兩辯護士列席開延檢事の求刑懲役六ヶ月に對し同上四ヶ月の判決言渡しあり同人が之に不服なりとして福島地方裁判所に控訴した事件の控訴公判は六日同裁判所に於て中島判事係、稻塚檢事關與平町仲里福島市北川兩辯護士列席開延檢事求刑第一審通り懲役六ヶ月に對し九日求刑通り懲役六ヶ月但し三年間行刑猶豫の判決言渡があつた

伏見町長 も頭を惱ましてゐると云ふから櫻花の公園に傷を指すやうな事はあるまいと云はれてゐる

古着窃盜犯

控訴の結果

客臘廿四日午後九時半頃常磐線鐵道構内跨線橋上待合室に於て石城郡箕輪村大字高野高萩よしの所有の古着仕入品衣類廿二點價格六百六十圓四十錢分を窃取し中一日をわいて廿六日夜半署

廣告燈を

廢止する

意向であるから従つて從來の如く公園は明るみが缺くるわけであるから町當局でも經費を支出して臨時燈を